

手

振
たが
振り三
内角
はわす

打者に
ながら
抜け込み
高校球
うれし
も大喜
場面で
「俺は全
くにして
いた。

問 適時打で1点ずつ加えた。
先発の大黒は果敢に内角を突く
球。「最初は落ち着きがなかつ
と言ふが、スライダーにキレ
のつた。1回、1死から四球の
貰を許すと自らの牽制でピンチ
がるのを防いだ。3回は先頭
の3連打で1点を失ったもの
そこで冷静を保つた。力のこ
つた球で、4番平湯ら中軸を打

ち取り、最少失点にとどめた。
5回。大黒が突如乱れ出す。球
が高めに浮き、適時打2本と押し
出しの死球で3点を失い降板。
「点差が開いていたので油断し
た」という。2死満塁で登板した
大江も死球で1失点したが、海星
の反撃を食い止めた。その裏、末
後まで主導権を渡さなかった。

◆ 第2東京面はしばらく
休みます。

朝日新聞厚生文化事業団へ
【東日本大震災救援】1万円
5万円 国立市・新田国夫▽1
万円 目黒区・竹上秋彦、板橋区
・望月絢一▽5千円 八王子市・
富永聖一▽3千円 八王子市・緑
雲会
世田谷区・鎌田組▽7千円 新宿
区・そば処福助・有志の会

◆ 敬称略

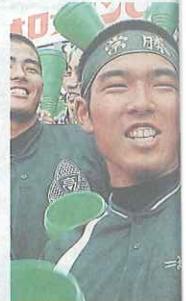


育成功労賞を受ける(上)栗山雅史さん(下)片桐幸宏さん

高校野球の育成や発展に貢献した指導者に贈られる「育成功労賞」に選ばれた早大学院部長の栗山雅史さん(61)と桜美林部長の片桐幸宏さん(55)が、15日に阪神甲子園球場で表彰され

試合前にあつた表彰式に2人はユニホーム姿で臨み、記念の盾を受け取った。栗山さんは母校の早大30年。甲子園の土を踏むの

早大学院・栗山さん 桜美林・片桐さん 育成功労賞、甲子園で表彰



同社代表取締役の伊藤弘光
い。ゆっくり凍らせる氷屋
の氷は純粹で、硬くて解け
にくい」。胸を張るのは、
疲れの今、9月半ばまで休
みなしの日が続く。

(鬼頭恒成)

は初めてで、「聖地に降り立つたという心地よい緊張感があった。試合を見るよりもプレーをする場所だと感じた。いつかは選手たちと甲子園に出たい」と話した。桜美林の主将として1976年の全国選手権で初出場初優勝を果たした片桐さんは監督・部長としても母校を甲子園に4度導いた。

「指導者にとっても甲子園は聖地。ここで表彰されることは光榮だし、責任を感じる。もっと貢献できるよう頑張りたい」と語った。

朝日福祉寄金
03-5540-7446



2014年8月16日
朝日新聞 P28(第2軒)

れしい
ど